



2021年 第1回 専門職研修 レビー小体型認知症サポートネットワーク京都 活動報告書

日時：2021年4月24日（土） 10:00～12:00

内容：医師の講義と事例検討

参加者：35名

4月の交流会は、ご本人・家族介護者のみの参加での開催としましたが、同日の午前中に専門職向けの研修会を開催し、多数ご参加戴きました。協力医の石井先生から、レビー小体型認知症をもつ人と共に歩むために土台となる知識の講義と事例検討を行いました。グループに分かれての事例検討では、顧問医：水野先生と協力医：成本先生にも加わって戴き、医療職（看護師・PT/OT等）と介護職（ケアマネジャー・社会福祉士・施設介護者・家族の会等）のそれぞれの立場での意見交換・共有を行いました。また、配布資料はすぐに実践に活かせる内容が、わかりやすくまとめられた保存版資料として活用できるものでした。

アンケートにご協力戴きました皆さんからのコメントの一部をご紹介します。

■感想■

- ・すぐに業務に活かせる内容の研修だった。・家族の会からの参加の方とも話ができる貴重な機会だった。
- ・職域で DLBSN の活動について広めていきたい。
- ・大変勉強になった、研修会の内容を踏まえて、各職種と家族との連携をとりながら対応していきたい。
- ・認知症のリハビリのスペシャリストになりたい。・交流会でのサポーターにも興味があるので、是非参加してみたい。
- ・沢山のスタッフに研修を勧めたいと思う。
- ・身体・精神症状への理解が深まった、改めて普段の過ごされている日常の情報収集をしていくことが重要だと思った。
- ・抗精神病薬に対する過敏性がある事がわかり、そういう方の背景には DLB が隠れているかもしれないという視点で対応できたらと思う。
- ・介護者が「当たり前のことが当たり前できない・・・」という事を実感している。24時間介護している家族にとって、少しでも心の支えになりたいと思う。
- ・知識が全くない状態で参加したが、とてもわかりやすく説明して戴き、病気について知ることができた。
- ・介護する家族にも他の認知症の方とは違う苦労がある事を知ることができた。
- ・限られた時間やオンライン制限のある中で研修実施して戴き、内容としてもわかりやすかった。
- ・他のグループの意見等を聞く時間があればよかった。
- ・DLB については断片的な知識しかなかったが、系統だって学ぶことができた。今後もできるだけ参加したい。
- ・電話相談でも家族介護者には DLBSN を紹介している。

■運営から■

多数のご参加ありがとうございました。2時間の研修会でしたが、あっという間に過ぎたように感じます。

講義＋事例検討＋まとめ・共有というプログラムでしたが、時間の関係で各グループの共有と事前質問の回答ができなかったこと、大変申し訳なく思っております。事前及びアンケートでのご質問につきましては、京都版ホームページに「専門職 Q&A」として掲載させて頂く準備をしておりますので、ご確認戴けたら幸いです。DLBSN 京都の専門職研修は、其々の地域やレビー小体型認知症サポートネットワーク京都交流会等で、サポーター（ご本人・ご家族を支える側）として患者さんご本人・ご家族の支援に貢献できる専門職（医療・介護関係者）の育成を目的としています。知識という土台を持った専門職として、いかに患者さんを理解していくのか、そして医療・介護それぞれの立場でバトンを渡しサポートしていくのか、実践に活かせる研修を目指したいと考えています。職場の皆さんにもご案内戴き、各地域で DLB サポーターが増えていくことを願っています。

次回は 10 月開催予定で「薬に対する過敏性」「自律神経障害」について理解を深めます。